

ささいなことでもご連絡を

となみ野営業所 保安課 林 達人

朝、営業所に出勤すると、前日の故障応動者である検査員から応援要請があり、自分が担当しているお客さま（製材所）から早朝、事務所が停電しているとの連絡を受け対応しているが、停電の原因を特定できないため応援してほしい、とのことでした。

現場に到着すると、お客さまから連絡を受けた、出入りの電気工事業者の方も到着していました。私から再度お客さまに原因について心当たりがないか問診しましたが、特になんことを確認した後、故障応動者と工事業者の方を含めた3名で故障の探査を開始しました。製材工場の分電盤や配線をもう一度入念に確認しましたが、ブレーカー動作やヒューズの熔断などはなく、また、配線の断線箇所もありませんでした。そこで、停電している事務所への配線をたどってみると、製材工場の屋根から事務所の屋根へは架空DV線（単相2線式）で配線されており、工場の天井裏での断線も考えられるので、天井裏へあがり配線を確認しましたが配線の損傷等はありませんでした。

残る箇所は工場と事務所間の架空配線しかないので、工場の屋根にはしごを掛けて接続点で電圧を確認したところ、101Vあり正常電圧でした。次に事務所屋根の接続点にて電圧確認をするため、接続点に少し触れた瞬間に、一瞬事務所の照明が「チラッ」と点灯しました。

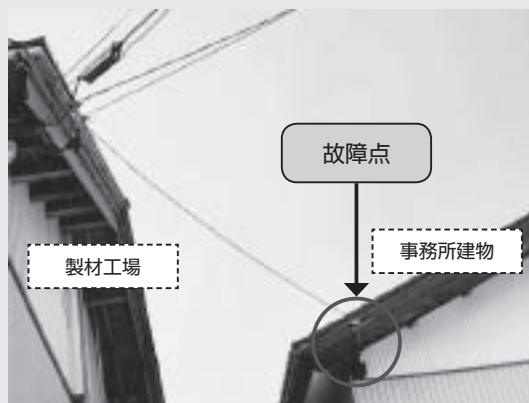
確認したところ、事務所屋根の引き込み配線と架空DV線の接続点の接触不良が原因でした。早速、電気工事業者に接続点の改修工事を実施していただき、まもなくお昼になるという頃に、ようやく事務所の停電を復旧することができました。

お客さまに原因を説明すると、数週間前にフォークリフトで品物を運搬中に当該架空DV線に品物が接触したとのことでした。

低圧回路の停電の故障原因では、ブレーカー動作、ヒューズ熔断が一般的ですが、今回事例のようにお客様との情報交換が、原因特定への一番の近道だと思います。お客様にはご不便をお掛けしましたが今回の体験は、検査員としての貴重な体験となりました。

私達検査員は、日頃の点検の際に必ずお客さまに問診をしています。どんなささいな事でもお話しして頂ければ、より早い故障復旧につながりますのでご協力をお願いいたします。

【現場の状況】



【故障点拡大写真】

